

戒厳令下チリ潜入記 (1986)

ACTA GENERAL DE CHILE

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 スペイン
色彩 Color
時間 120分
初公開日 1987/10/05
公開情報 大映

【解説】

73年、チリのアジェンデ社会主義政権が、ピノチェト将軍による軍事クーデターにより倒され、大統領を含む多くの人民は殺されるか亡命を余儀なくされた。本作のリティン監督もその一人で、10数年を経て、欧州から未だ戒厳令下の母国へ変装し侵入、全く秘密裡に撮られたドキュメンタリーである。まさに命懸けといった緊迫感に貫かれ、インタビューに答える人々の将来を不安に思ってしまう。事実の記録以外の説得力は持たないが、まずはこの“事実”を示すことが先決なのだろう。

【クレジット】

監督 ミゲル・リッティン Miguel Littin
撮影 ウーゴ・アディラルディ
ジーン・アイビス
トリスタン・バイエル
パブロ・マルティネス Pablo Martinez
音楽 アルフィル・ウノ・シネマトグラフィカ
ベルナデッテ・チド
ルチアーノ・バルドウッチ